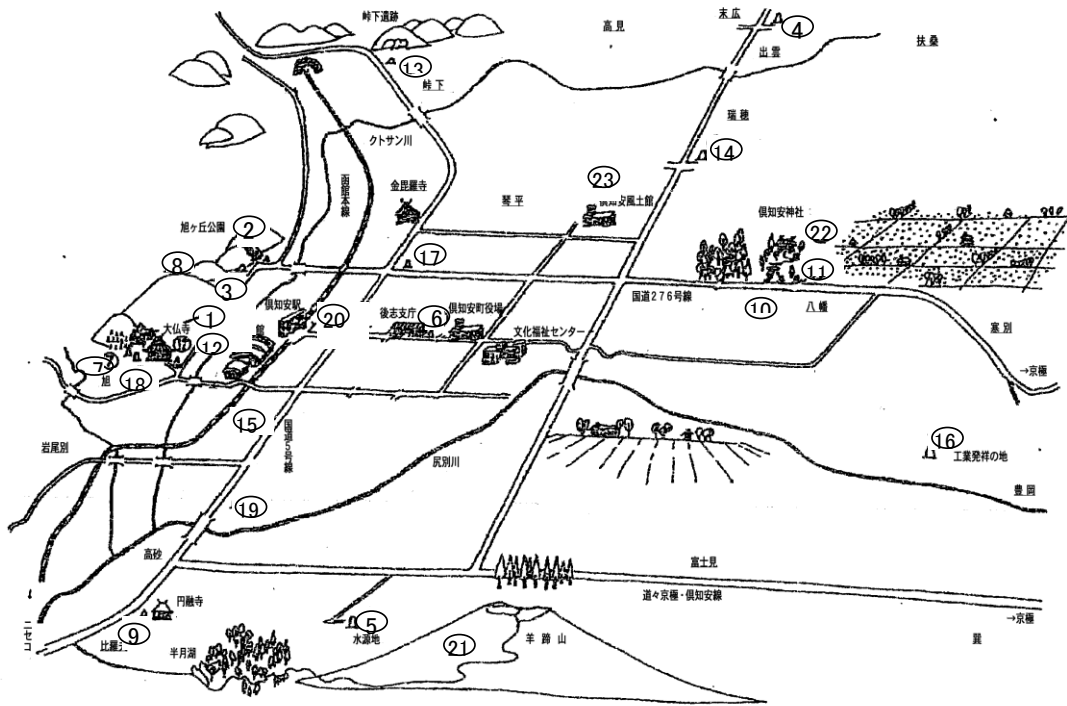


倶知安・史跡マップ



No	建立年	名称	考
1	昭和46年 指 定	大仏寺本堂天井画	大仏寺初代住職齊藤忍隋が描いた178点からなる力作。昭和46年3月30日付で倶知安町指定有形文化財(第1号)に指定された。
2	大正12年	三十三観音像	両国33霊地を巡拝できない人々のため大正12年に建てられた。
3	昭和16年	倶知安開基記念碑	開基50周年を記念して開拓者の業績をたたえて建立された。
4	昭和19年	山陰移住会社記念碑	島根県からの移住者を倶知安に入植させた山陰移住会社跡地に建立された。
5	昭和30年	水源地霊水碑	倶知安の水源地として利用されることになった記念として建立された。
6	昭和41年	後志高等国民学校記念碑	大正11年、後志支庁庁舎を校舎として開校した。
7	昭和41年	布袋座遭難者慰霊碑	昭和18年におきた「布袋座」の火災の死者の霊をまつる。
8	昭和43年	レルヒ中佐記念碑	倶知安にスキーを伝えたレルヒ中佐の業績を記念して建立された。
9	昭和43年	加賀団体崇徳碑	倶知安に入植した加賀団体の入植記念碑。
10	昭和45年	倶知安小学校発祥跡地	明治29年に開校したくっちゃん最初の学校跡地。
11	昭和47年	戸長役場跡記念碑	明治29年に設置された戸長役場跡。当時この一帯が行政の中心地であった。
12	昭和47年	倶知安町文化財制定記念碑	大仏寺天井画が町指定文化財第一号になったことを記念して建立された。
13	昭和48年	峠下遺跡発掘地記念碑	昭和33年に縄文文化期の石器類が発見され、考古学研究的源となった。
14	昭和48年	水稲発祥の地記念碑	青木利一が明治43年倶知安で初めて米づくりに成功したことを記念して建立された。
15	昭和50年	開拓者入植跡地記念碑	明治25年、仁木宇蔵ら16人がここに入地、開拓のくわを入れた。
16	昭和50年	工場発祥の地記念碑	明治25年、鈴木大吉が創設した水力によるマッチ軸工場跡。
17	昭和52年	倶知安原標	明治27年、道庁が行った区画整理測量の基点。
18	昭和54年	倶知安ずい道遭難死者追悼碑	函館本線のトンネル工事にあつた間組の殉職者の霊をまつる。
19	昭和60年	レルヒ中佐の像	レルヒ公園の中に記念像を建立。
20	平成3年	昴の像	開基100周年を記念して駅前公園に建立された。
21	大正11年 指 定	天然記念物「高山植物」	羊蹄山の一帯には260余種に及ぶ高山植物が分布しており、ハイマツ、コケモモ等は国の天然記念物に指定された。
22	昭和60年 指 定	赤坂奴	昭和8年9月15日(倶知安神社例大祭)奴行列をすることになり、当時小樽で赤坂奴の振りを習得していた陶山増太郎と佐藤村蔵の二人を招き、教えを受けたのが始まり。以来青年団が中心となって神社祭典の御輿渡御で引き継がれる。昭和60年7月1日無形民俗文化財に指定された。
23	平成9年 指 定	羊蹄太鼓	羊蹄太鼓は昭和38年、高田緑郎さんによって作曲された和太鼓の演奏曲。倶知安の郷土芸能として未来へ継承すべき太鼓演奏曲であるとの観点から、平成9年11月1日無形民俗文化財に指定され、同時に羊蹄太鼓の保存、継承団体として「くっちゃん羊蹄太鼓保存会」が団体指定された。